

横浜市・横浜市社会福祉協議会障害者支援センターへバンダナを寄贈

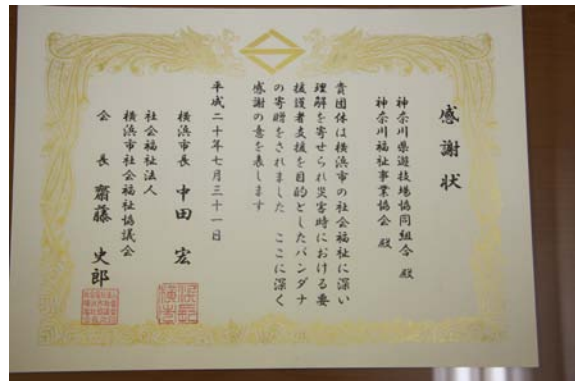
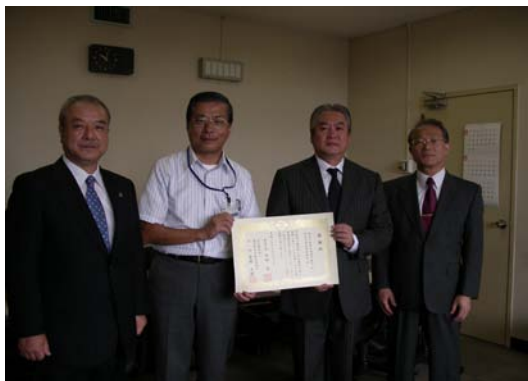
神奈川県遊技場協同組合を母体とする神奈川福祉事業協会（平川正寿会長）は、社会貢献活動の一環として、横浜市・横浜市社会福祉協議会障害者支援センターへ災害時要援護者支援用バンダナを8,500枚寄贈しました。

1. 贈呈日	平成20年7月31日（金）午前10：00～10：20
2. 場所	横浜市役所健康福祉局長室
3. 贈呈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会
4. 贈呈先	横浜市（中田宏市長）、横浜市社会福祉協議会（齋藤史郎会長）
5. 贈呈品目	災害時要援護者支援用名入りバンダナ 8,500枚（119万円相当）

6. 概要

障害者支援センターでは、障害のある人が地域で安心して暮らせるための活動「セーフティネットプロジェクト横浜」を推進しておりますが、神奈川福祉事業協会では、このプロジェクトに賛同し、災害時要援護者支援用バンダナを寄贈しました。このバンダナは、災害発生時の混乱の中、支援の意思の伝えにくい障害のある人たちのために、支援を必要とする方は「黄色」、支援できる方は「緑色」に色分けし、これを腕や首に巻きつけるなどサインとして使用する目的で作成されたものです。

横浜市健康福祉局上野和夫局長から、「この度のバンダナ寄贈に感謝いたしますとともに、福祉車両贈呈、AED設置の取り組み等、県内のパチンコ・パチスロ業界の皆様のご多様な社会貢献活動を知り、大変感動しております。」とのご挨拶があり、感謝状をいただきました。



写真左より横浜市社会福祉協議会障害者支援センター沼尾雅徳担当理事、上野和夫横浜市健康福祉局局长、平川会長、上原専務理事